

開催記録

第 76 回放射線科学研究会報告

ONSA 賞受賞者講演会

2022 年 8 月 2 日（月）13:00-17:00 オンラインと会場のハイブリッド開催、参加者数 25 名
講演資料は ONSA ホームページで公開。

プログラムと講演要旨：

会長挨拶 大阪ニュークリアサイエンス協会 松村孝夫
ONSA の事業と協会賞について 大阪ニュークリアサイエンス協会 専務理事 奥田修一

【座長：児玉靖司 大阪公立大学 大阪院理学系研究科 教授】

2021 年度受賞講演

1. イオンビームと X 線の併用によるがん治療高度化に向けた治療生物学的な研究
若狭湾エネルギー研究センター 研究開発部 粒子線医療研究室 主任研究員 前田宗利
2. ニュークリアフォトンクスで拓く「シングルショット中性子分析」
大阪大学 レーザー科学研究所 教授 余語覚文

【座長：岩瀬彰宏 若狭湾エネルギー研究センター 所長】

過去の受賞者の最近の研究紹介

3. 粒子線照射固相重合法による超微細直立有機ナノワイヤの構築
京都工芸繊維大学 分子化学系 講師 櫻井庸明
4. 放射光その場観察を利用した水素化物探索研究の最近の成果
量子科学技術研究開発機構 関西光科学研究所
高圧・応力科学研究グループ グループリーダー 齋藤寛之

2022 年度第 1 回見学会報告（若狭湾エネルギー研究センター）見学記

8 月 29 日快晴の中、敦賀コミュニティバスで「エネ研前」に一行 15 名が降り立ちました。バス停には公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター（以下、「エネ研」）所長の岩瀬彰宏先生と窓口の奥津主任（女性）に出迎えて頂きました。奥津主任の開口一番「良い日にお越し頂きました。昨日までは玄関周り等が猛暑の中温室状態で大変な状態でした。きっと皆様は日頃の行いの良い方ばかりなのでしょう」とのご挨拶でした。確かに、建物ガラス張りの温室で夏向きでないと思われた。また、建物形状がデザイン的に平面円弧・円筒形状なのでサイクロトロンと勘違いされることが多いとのことでした。

① ウェルカム概要説明・講演

会議室へ案内頂き、所長の岩瀬彰宏先生のエネ研の紹介・実績の講演を頂いた。内容はエネ研の設立、経営母体、研究開発分野、人材育成、産業支援の実績紹介等でした。この講演の内容は岩瀬彰宏先生から頂いた資料を ONSA HP 見学記に掲載いたします。

筆者の印象に残ったのは、医療分野で「粒子線がん治療高度化のための基礎研究」・「照射技術の高度化研究」の実績を元に、福井県立病院へ技術移転して実用化を推進したことで地元優先の姿勢がよく見えた。エネ研は更に高度化研究も推進してゆくとのこと。

技術的な課題や成果は下記の 2021 年 1 月、ONSA 主催の【第 30 回放射線利用総合シンポジウム】での所長の岩瀬彰宏先生の発表をベースにしているとのこと。研究テーマを記載する。

- a. 粒子線医療研究イオンビーム育種研究
- b. イオンビームによる材料分析・材料改質研究
- c. 原子力材料の放射線耐性評価